

**公益財団法人世界緑茶協会**  
**平成 31 年度事業計画**

(基本的な進め方)

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案するとともに、緑茶に関する情報を集積して日本茶、静岡茶を世界に向けて情報発信する。

本年度開催される世界お茶まつり 2019 において、産業、文化、学術に関するプログラムを実施して緑茶の魅力提案と茶に関する情報集積・発信に寄与する。また、国の農産物輸出戦略に沿って、農林水産省、関係団体と連携して海外での日本茶の普及と輸出の促進を図る。

(具体的な事業)

**1 茶文化に関する講座及び体験事業 (公益目的事業 1)**

(1) 茶文化セミナーの開催

「茶の都しずおか」の創造を目指し、茶に関する歴史、文化、効能など様々な情報発信を行うとともに、茶を楽しむ機会を創出する。

区分	時期	内容
お茶体験講座	平成 31 年 5 月	世界お茶まつり春の祭典における来場者向けお茶体験講座
茶の都文化セミナー	平成 31 年 5 月 ～平成 32 年 3 月	茶の都ミュージアム連携セミナー

(2) 情報誌の発行

茶に関する幅広い情報を発信するため、専門情報誌「緑茶通信」を発行する。

発行時期	主要テーマ	発行部数
平成 31 年 9 月	45 号 日本茶輸出の近代史 (仮)	1,000 部
平成 32 年 3 月	46 号 世界緑茶会議 2019 (仮)	1,000 部

(3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおか O-CHA プラザ」の静岡茶体験コーナーを運営するとともに、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施する (一部県委託)。

ア しずおか O-CHA プラザの運営

場所・規模	静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 3 階 65 m <sup>2</sup> 15 席
開場時間	月曜日～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
内 容	静岡茶体験講座等の企画及び運営、世界緑茶コンテスト入賞茶や県内茶産地紹介などの企画展示、茶関連書籍などの資料収集

## イ 静岡茶体験講座の企画運営

- ・ミニ講座：季節に応じたお茶の楽しみ方を提案する講座

時 期	回 数	テ ー マ ( 予 定 )
5月～6月	8回	新茶を楽しむ
6月～7月	8回	冷茶を味わう
8月	2回	夏休み親子お茶講座
9月～10月	8回	国産紅茶
11月～12月	8回	抹茶と粉末茶
1月～2月	8回	お茶でおもてなし

- ・静岡県内茶産地紹介・体験講座

時 期	対 象	内 容
通年	学校・企業・一般・ 訪日外国人等	お茶の基礎知識、県内茶産地の紹介、県内茶産地のお茶を使ったおいしい淹れ方体験

## 2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

### （1）日本茶輸出の促進

#### ア 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市等へ参加し、日本茶の種類や淹れ方、緑茶の機能性等を紹介するとともに、茶や茶関連商品の輸出拡大を支援する（日本茶輸出促進協議会事業）。

開 催 地	米国・サンフランシスコ
開 催 時 期	平成32年1月
名 称	Winter Fancy Food Show 2020

#### イ 日本茶輸出促進のための人材育成

「日本茶・静岡茶」を海外に発信する人材を養成するための研修・講座を実施する（一部県委託）。

区 分	対 象 者	内 容
日本茶を海外へ発信するための英語講座	国内茶業者、通訳案内士等	英語でお茶を説明する業務に従事する人や今後従事する予定の人に対し、日本茶について英語で説明する方法を学ぶ講座を開催
海外茶業者の茶生産現場での研修	海外茶業者等	日本茶に興味がある海外茶業者に対し、県内茶業者と連携して茶生産現場等で静岡茶の魅力を学ぶ実務研修を実施する。

## ウ 日本茶の輸出戦略への参画

日本茶の輸出を促進するため、日本茶輸出促進協議会に参画してジャパンプブランドの確立やマーケティング体制の構築、輸出環境整備などの課題検討に参加するとともに、国の目標達成に向けた海外での日本茶プロモーション等の施策展開を分担する。

## (2) 世界への情報集積・発信

### ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらへの関与を目的に、農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報を収集する。

区 分	内 容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO (国際標準化機構) TC34/SC8 (食品部会/茶専門分科会) における議題に関する国内審議への参画。議案の意見調整と ISO 事務局への投票業務。</li> <li>・ ITC (国際茶委員会) 及び FAO-IGG (国連食糧農業機関「茶に関する政府間会議」) における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集。</li> </ul>
各国の茶関連団体との交流、情報交換	茶に関連する海外の団体 (全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会、世界茶連合会、中国茶葉流通協会、韓国水原大学校、台湾区製茶工業同業公会など) と連携して情報収集と発信を行う。

### <海外特別会員の状況と目標>

H30 見込み	H35 目標
15 か国・地域、26 団体：中国 2、韓国 2、台湾 4、米国 5、英国 2、カナダ、ドイツ、イタリア 2、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、シンガポール、ネパール、マレーシア	20 か国・地域、30 団体：欧米諸国をはじめ ASEAN 諸国へ展開

### イ ウェブサイトやソーシャルネットワークサービス (SNS) を活用した情報発信

公式ホームページ「O-CHA ネット」や Facebook 等の SNS を活用して情報発信を図る。

媒 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公式ホームページ「O-CHA ネット」(日英)</li> <li>・ 賛助会員向けメールマガジン (月 1 回程度)</li> <li>・ Facebook (週 2 回程度、多言語発信)</li> </ul>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本茶に関する基礎知識、専門知識</li> <li>・ 茶の機能・効能に関する研究成果情報</li> <li>・ 国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況</li> <li>・ 国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報</li> <li>・ 協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報</li> </ul>

### (3) 世界緑茶会議の開催

世界お茶まつり秋の祭典の学術プログラムの一つとして「世界緑茶会議」を開催し、緑茶流通に関する各国の状況を紹介すると共に、世界の緑茶市場拡大に関する今後の展望などについて意見交換を行う。

開催期間	平成31年11月7日～8日
開催場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 11階 会議ホール「風」
講演者	北米、カナダ、EU、中国、日本の茶業関係者
参加者 (聴講者)	国内茶業者、輸出関連事業者、海外茶業者
内容	○講演 招待講演者による各国の緑茶生産流通に関する最新状況の発表 ○パネルディスカッション 招待講演者と参加者等による世界の緑茶市場拡大に関する意見交換

### (4) 世界緑茶コンテストの開催

#### ア 世界緑茶コンテスト2019の開催

市場性の高い魅力ある新商品を提案し、茶の新たな需要を創造して消費の拡大に繋げることを目的に、世界緑茶コンテストを開催する。

目標出品点数	100点（うち海外30点）
募集期間	平成31年4月～7月
審査会	平成31年8月 ふじのくに茶の都ミュージアム (審査員) 茶研究者、流通業者、マーケティング研究者、デザイナー等
表彰式	平成31年11月（世界お茶まつり関連行事として調整予定）
入賞茶の展示 ・PR	・世界お茶まつり秋の祭典や各種イベント、食品見本市等において 展示、PRを実施 ・公式ホームページ「O-CHA ネット」に掲載

#### イ 海外品評会への出品支援

日本茶の国際的なブランド化を図るため、海外で開催される国際名茶品評会や金賞茶品評会への出品支援や日本の窓口業務を担う。

### (5) O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる優れた学術研究、緑茶の振興及び発展に寄与した産業技術、緑茶生活文化の提案、消費拡大等の優れた成果を顕彰する。

#### ア O-CHAパイオニア賞 2019 の表彰

##### ・受賞者

受賞部門	受賞者・団体名	表題
学術研究大賞	海野けい子（静岡県立大学 薬学研究院准教授）	緑茶による脳の老化予防ならびにストレス軽減に関する研究
文化・芸術大賞	井手暢子（ビジュアル デザイナー、蘭字研究家）	輸出茶ラベル「蘭字」の研究
O-CHA 特別賞	不双産業株式会社	高品質ティーバッグ製造機械のパイオニア
O-CHA 特別賞 （国際）	Louise Roberge（カナダ 茶・ハーブ協会 前会長）	世界の茶業界発展のため長期に渡り活躍
チャレンジ CHALLENGE賞	株式会社アクト・フォ	静岡茶の香りを世界に広める新商品の開発・販売

・表彰式：平成 31 年 5 月（世界お茶まつり関連行事として調整予定）

#### イ O-CHAパイオニア賞 2020 の募集

CHALLENGE 賞については対象を拡大し、茶の将来を牽引するような意欲的な取組みを広く顕彰する。

##### ・表彰の区分

部門	内容
学術研究大賞	茶に関する優れた学術研究成果
産業技術・商品開発大賞	茶の生産や消費に関する優れた技術や商品の開発
文化・芸術大賞	茶に関する文化及び美術等の芸術に関する活動
O-CHA 特別賞	茶に関する国際的な貢献や日本茶の普及等に係る優れた取組
CHALLENGE 賞	茶の将来を牽引するような意欲的な取組

・候補者募集：平成 31 年 9 月～

### 3 ホームページバナー広告（収益事業）

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHA ネット」において、お茶関連事業者（当協会会員）の広告を掲載することによりホームページを充実させて需用者の便宜を図るとともに、当協会ホームページを中心にしたネットワークの構築をすすめる。